THE WOMAN'S WEEKLY
第三巻 第四十二號
大正六年十月十九日發行（毎週金曜日發行）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□近頃の女中問題　小橋三四子
□時事週評……
□磨かれた二つの人格……廣岡浅子
□私の一日「坪内まち子夫人」……
□海は神秘の郷……若林欽
□婦人界開拓者の家庭訪問「佐々木信綱氏と雪子夫人」……小枝
□東都にある蜂窩生活……記者
□世界の事―ハーバート大學の名物……
□いろ／＼の社會「蒼天井の下で無言の演劇」……佳平
□地方生活を推奨する……薄田斬雲
□秋の皮膚病……松木除子
□雨續きの頃の樂器の手入……記者
□保健に叶ふ經濟な獻立……秋穂益實
□ノートから……
□オハナシ「自然兒」……琴子
□小話「黄金の露」……波留子
□小說「犬と彼等」……高田てい子
□短歌「萩の花」……立木䳘子
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘　郵稅五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産前、産後婦人病

血の道一切の良薬！

◆主治効能◆

血の道、子宮病、こしけ
白帯赤帯、足腰冷込、下腹痛み
産前産後、氣ふさぎ、難産流産
逆上頭痛、經期腹痛、月經不順

定價表

	定價	送料
本法實母散一貼	金十錢	二錢
同三貼	金三十錢	二錢
同五貼	金四十五錢	二錢
同七貼	金六十錢	四錢
同十四貼	金一圓二十錢	六錢
同廿一貼	金一圓六十錢	八錢
同三十貼	金二圓十錢	八錢

本舖 東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五番 五六番
振替口座二二五四番

◉偽物あり御求めの際は喜谷實母散と御指名願上候

近來の女中問題

□世界の變動

近頃の外報は、恰も活動寫眞のフイルムのやうに、世界が應接に暇ない變化の幕を展開しつゝあるを語り、其の動亂の渦中から、新らしい世紀の生れ出でん事を暗示して居るかの如く見えます。歐洲の大戰は云はずもあれ、露西亞、支那の革命の動搖に續いて、米國露國の同盟罷業の蜂起、近くは土耳古の革命、芬蘭の獨立共和等、頻々として軍國主義に對する人道主義、階級制度に對する民本主義の戰ひが現はれて參りました。この世界の潮流は私共の生活にも何等かの影響が無ければなりませぬ。士農工商の階級制度は、維新の際、其の形式は破られましたが、なほ官尊民卑の觀念や貴族と平氏の階級、資本主と勞働者との關係等に、大に捉はれた處がありましたが、今日はもはや舊習の儘に惰眠を貪る事が出來なくなりました。

□女中の拂底

就中痛切に家庭生活に改革を要するのは、女中の問題であります。四五年前迄は工場に働らけば、自由はあつても、日に二三十錢の日給で、漸く糊口を凌ぐに足りるのみである處から、自由はなくとも、衣食の憂ひなくして、其の上三四圓の給料のとれる女中を志望する者は、尠くはありませんでしたが、今日は工業の勃興につれて、女工の給料も增額し、工場法案によつて優待せられる處から、何れもこの自由のある工女の生活を撰んで、女中の拂底は、年と共に劇しくなつて參ります。漸く雇ひ入れた女中は、極めて我が儘な使ひ難い者が多いので、何れの家庭でも、主婦はこの爲めに苦しんで居らるゝやうな次第であります。然し今日昔のやうに女中をして全く年來の主君に仕へるやうな關係に戻さうとするのは、無理であります。却つて雇主の態度と、女中の待遇方法に改良する處が多分にあらうと思はれます。勿論女中自身が、今日の儘では、其の用を爲さぬのは、申す迄もありませぬ。

□女中の職掌の職業視

先づ第一に女中の職掌を職業視してやる事が大切です。從來は女中と云へば、全く主人の手足同樣に使はれるものとして、其の職掌には、獨立した價値を附して居らなかつたのであります。それ故自由はなく、仕事に意味がないのであります。從つて女中も時間を盜み樂を望む雇人根性になりたがるのであります。然し家事は官衙事務所の事務と同樣、職業として不足ない仕事であります。料理、洒掃、裁縫、應接、子守等、複雜の中にも分類のある事務であります。この事務を一種の職業として、依托する念が雇主にあれば、從つて女中を奴隸視せず、職業を執る一個の人間として相扱ふ事が出來て、雇主も全くの從屬を强ひず、女中も亦自然自重して雇人根性を離れて行きませう。

□自由の時間

次に時間の問題であります。女中を不規則な使ひやうをする

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今後は必ず不可能の事になつて行きませう。せめて夜八時過とか、隔週の日曜とか、自由な時間を與へて、學習の便、自身の身の周りの處置休養等を圖つてやつたら、却つて女中の執務振りは、今日よりは活潑になつて行きませう。多くの家庭では主婦と共に女中が睡眠不足して居ります。女中と居眠りとは附きもの、やうに云はれて居りますが、今日のやうに無理な使ひ方をしては當然な話であります。時間外れの客には、敢へて女中の手を煩はさずとも出來る範圍で應待する位の心掛けが、一般にあつたら、却つて社會の風習にも秩序が出來て來て、家庭生活の煩雜さが次第に減じて行きませう。一旦女中にでも與へた自由は大人はもとより、子供にも勝手に破らせぬやうにする事は、今後人の時間を尊重し、規律ある生活を營んで行かねばならぬ我が國人にとつて、大切な教育であります。

事は、從來ならばいさ知らず、

□給料の問題

次は給料の問題であります。看護婦會から助手を子供の附添ひとして雇ひ入れても、最も易いので食料附十二圓位は出さねばなりませぬ。この助手は其の職業より外に、他の仕事には一指をも染めず、据膳の待遇を受けるのであります。而してこの助手は衞生の片端位は心得て居りませうが、普通教育のある女中と大差ない智識であります。これに比較して見れば、女中の給料の著しい低額である事を思はねばなりませぬ。普通三四圓から、五六圓止りで、十圓と云へば大家の取締り位が過々取る給料であります。畢竟女中の給料の相場は習慣上定まつて居るもので、其の仕事に匹敵したものではありません。今後は女中の三人の處は二人にし、二人の家は一人に減じても、其の給料の増額を圖る事が至當でありませう。

□女中自身の訓練

次に女中自身の訓練であります。今日は別に女中學校があるのではなく、また職業としての訓練を積ませる習慣もないのでありますが、今後は普通教育に於て、一般に義務の觀念と、職業を尊重する念とを充分に植ゑ込みたいものであります。そして一旦職業に就いた以上は、これに執着し、訓練を積んで行く事が出來る性情を與へられたいものであります。この性情は今日一般の國民性の缺陷であり、從つてそれ丈け多く教育者の心を用ひられたい處であります。

* * * * *

極めて卑近な日常生活も、遠く世界の潮流を受けて、常に變化して行くのでありますから、姑息な方法を以て、一時を糊塗するに甘んせず、根本的にこれに應ずる處置を取らなければ、いつ迄も到底滿足な解決を見る事は出來まいと思はれます。

（三四子）

時事週評

二

□皇后陛下幼年學校に行啓

我が皇后陛下の御精勵は、今更ら申すも畏しこき事ながら、今回は中央幼年學校に御在學中の淳宮殿下の御學業振りを臠し、且つ同校御觀覽の思召を以て行啓遊ばされました。今日迄我が夫我が子の軍隊に在る者も、其の智識に就ては無頓着に過した國民の妻や母に、陛下は眞によい手本を示されたものと云ふべきであります。

□北白川宮御渡臺

北白川宮殿下には、妃殿下御同伴、父宮殿下の御最後の勳功を遺されたる地臺灣を訪はせ給ふ事であります。いか許りか御感慨深き御旅であらうかと拜察いたされます。御航路の平安を祈つて止みませぬ。

□都會の蜂窩生活

複雜煩瑣な都會生活に、一方簡易生活を要求致します。本號に掲載した蜂窩生活の如きも、さうした要求から生れたものです。只恐る日本人には未だ共同生活に對する禮儀と公共心少きを。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

磨かれた一つの人格

國家中堅の覺醒を促す

廣岡淺子

□**四十年前から**

婦人問題につき、私が殊に興味を持つやうになつたのは、今から四十年前・即ち一家の運命を此の双肩に擔つて起つた時でありました。勿論幼時から女と云へば一段低い者として取扱つて居た當時の風習の不合理なのは、常に感じて居りましたが、女だからと云つて、傍觀して成行に任せたら、一族は路頭に迷ふより致し方がないと感じた時、勃然として内に湧いた力は、世の習慣束縛を超越せしめて、事業界に自由に男子と共に馳驅するに至らしめました。此の時熟々婦人の屈從生活、籠城生活が、どれ程婦人の發展を妨げ、延いて國家の進運を阻害して居るかを思ひ、及ばずながら、婦人の教育、解放といふ事に力を盡さうと思ひ至つたのであります。

□**夫に比敵する學德**

以來四十年間、益々自覺して婦人の現狀を研究し、發達の機會ある毎に、事業の傍ら力を致して居りましたが、或る時は希望を持ち、或る時は失望の極に達し、近頃は尙悲觀の狀態にあります。西洋に於ては此の大戰亂に際して、異常なる婦人の能力が現はれ、戰後必ず新世紀を劃すであらうと囑目せられて居る事は、私共に取つても希望を與ふるものでありますが、飜つて日本の狀態を見れば、前途は再び暗澹として、光明を見るの日は何時であらうと嘆かずには居られませぬ。日本の婦人にはどれ程獨立した人格と、價値と、自由がありませうか。何々大將夫人と云へば、大將の名譽勳功が婦人にも輝いて居るので一朝大將が亡くなつた後は其の存在さへも認められなくなるのが普通であります。其の他富豪の夫人令嬢と雖、一朝家が零落すれば、拔殼同樣のくだらぬ者であります。學者、宗教家等にしても、其の夫人たる者が、學識、信仰に於て、夫と並べ仰ぐに足る人が果してありませうか。歐米に於ては、教授たる人の夫人は、またこれと同格の學識才能を備へ、一世を導くに足る宗教家の妻は、また其の信仰德望敢へて良人に劣らぬ立派な婦人を見る事が、決して珍らしからぬと聞いて居ります。我が國に於ても女子教育が進んだ今日は此の種の夫妻がありさうなものと思ひますが、なか〳〵得られぬので、多くは夫の人格、事業を妨げなければ、先づ上乘の部とせられて居ります。元來夫人とは助け人と云ふ意味と聞きますが、我が國の現狀にあつては夫人の名稱を掲げる事は出來ないと感ぜしめる事が多いのであります。

□**自由の境遇に在る婦人**

今日男子の貞操觀念は、遺傳的に女子よりも亂れて居りますが、偶々學者、宗教家等の間に眞の紳士があつて、一夫一婦の誠を致し、夫人を敬愛しやうと務めて居るものがあります。かやうな家庭にあつては、夫人は夫の期待に添ふやうに、修養、研磨すべきでありませうに、其の自由な境遇に乘じて、却つて我が儘となり、夫の敬愛に馴れて、淺薄にも自分を買ひかぶり、遂には古くから云はれて居る通り、牝鷄の晨する類ひとなり、夫の賢明を覆ひ、其の德望を傷けて居る事は、返す〳〵も遺憾な極みであります。

□**男子の覺醒**

然しこれはまた一方からは男子の覺醒が足らぬのであります

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

例へば結婚問題に就て、近來は大學の俊才、其の他有爲の人材が、富豪や高位高官から見込まれて、全く其の人格、學識には未熟な、不完全な、そして身體も虚弱な世間知らずの若い令嬢を貰はせられるといふ風が、愈よ盛んになつて來ます。これ等の婦人には、何の價値があるのではなく、全く親や家のお蔭で世に起たれる人々であります。

四

而して國家の中堅を爲すべき階級に、婦人の寄生生活は、愈よ瀰漫して行き、男子の力を減殺して行かうとして居ります。此狀態では、幾回轉しても、日本は同じ文明を繰り返へさなければなりませぬ。この點は大に未婚の男子が反省して、苟も終生の伴侶、助け人とする夫人を選ぶに當つて、眞の幸福は、獨立して磨かれた二つの立派な人格が集まつて初めて得られるものである事を心にしめて配偶者も選ばれたいと思ひます。婦人も亦親や夫によつて價値定まるにあらず、其の智徳を磨いて、自らの人格を高めなければ、いかに高位高官富豪の夫人とならうとも、決して幸福ではなく、また生甲斐があるものでない事を自覺したいものであります。

私の一日（三）

坪内まち子夫人

▲坪内ホームス夫人、まち子様が戀しい良人、士行氏を追つて、遙々英國から渡つて來られたのは昨年の梅咲く頃であつた。暮の松を一つ越された此頃では、悉皆日本趣味に同化されて、今では美しい世話女房振りを、發揮して居られる。半年程小石川に一家を構へられた頃、其お玄關には、可愛らしい日傘と、紫地鹽瀬の表を見せた、ゴム裏草履などが見られた。『日本の女中は、一般に時間と秩序の觀念が缺けてゐて、凡ての事に餘程不經濟でした』といふ辛い經驗をあとにして、今は麹町三年町に、若い御夫婦は、樂しい蜂窩生活を送つてゐられる。三階の階段を昇り詰めて、左が士行氏夫婦のお住居である。八疊と三疊と、それに簡易なお臺處と押入とが附屬してる。近頃ではもう寢臺すら廢されて、敷き詰められた絨毯の上に、椅子は隅の方へ押しやられてある。

ホームス夫人

▲夫人は西洋人には珍しい程、柔順な性質である、そして其容貌も極めて東洋的な美人でゐらつしやる。愛嬌の好い其瞳の輝き赤い小さな唇からは、軽い日本言葉がまろび出る、食物も大抵な物は頂きます、と仰有る、中でも鰻や天ぷら、そして饂飩がお好きだと聽いた。紫紺地の質素なスカートと淡色の上衣、散歩の折には靴下をよして、よく白足袋をお召になるといふ。夫君が多く在宅なので、夫人も大抵家内に暮される。

▲お天氣のよい日は時々、お二人の散歩姿が、あの界隈に見られる、家に居らるゝ夫人は、寸時でも手をこまぬいて居る事がお嫌ひだ、近頃ではよく絽刺しをして居られる。其が又極めて巧みで、吉右衛門や梅幸の似顔など、一針毎に縫ひ上げられる。夫人は好んで日本の舊劇を見に行かれる、不思議な日本の昔の風俗が、夫人には夢の樣に懐かしまれるのである。斯うした趣味の一面に、朝な夕な、夫人の手になる温い御飯や味噌汁が、いつも良人を悦ばしめる。夫人は又極めて軽い滑稽味に富んだ方だ。階下に飼はれる猫が、髭の下に滑稽な斑點を持つてゐるので、忽ちチャプリンさんといふ。相應しい名前の名附親である。チャプリンさんは、小さな背中を丸くして、よく夫人のお部屋へお邪魔に來て居る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海は神秘の郷

四季海に近け

海軍中佐 若林欽

□海に興味を覺えよ

海のお話——成る程よい思ひつきです。日本は四邊海でありながら、何うも御婦人方が海を怖れすぎてゐる、否それよりも海の事を知る智識がなさすぎると思ひます。屹度今時の方でも、海の底に龍宮があるかもしれないと思つてゐる方が無いとは言はれぬ、流石にそれを口に出して眞面目に質問する方が無いのであらうと思ふのである。それは即ち自然に感じられる海の神秘であらう。私はそれを無智として笑ふよりは海の底の神秘を信じたいである。それにはそれ相應に、せめて一般的の智識としても少し海の事を研究されたいと思ふ。海と云へば廣い。海潮の事、魚の事、海獸の事、植物類、貝類、蟲類と數へ來れば限りなく、魚類としても何千種あるか、その中の海老と云ふ名稱の下にも五六百の種類があるやうに、迚ても是れを專門的に研究しやうとしたら一朝事の爲事では無いのである。けれども小中學程の注入的の智識丈では甚だ不滿足だと思ふのであります。何故でせう、それには興味が伴はないのである。物を研究する第一義はそれに興味を持つ事であると思ふのです。即ち婦人諸君がもつと海上の旅行を試みて、自發的に興味を感じ、而して研究されたいと思ひます。

□先づ奬勵したいヨツト

現在の婦人に對しては少し極端かも知れませんが、何うせ物を産み出す初めには多少の苦しみはあるものですから、我國の婦人の智育體育の發達を重ずるならば、よし少數でも御婦人が率先して、船遊びをお初めになつていたゞきたい。同じ旅行なさるにしても東京神戸間を船で行くとか、伊豆方面へ出かける時も船路を取るやうにしたらばよろしいのです。何時も東海道線で行つたり來たりする學生諸君など最も言ひ甲斐なく思ふのです。船路と云ふものは天候によつて、同じ航路でも非常に感じが違つて面白いものです。時に釣船にあひ、時に海月を見たり、船つき場で珍らしい貝を拾ふこともありませう。それらが諸君の博物的智識に不思議な程の眼さめとなることが多い。

□百尋以下の海底の魚

魚には眼があります。眼がある以上物を見るのです。けれども百尋以下の海は眞暗なので眼があつても役に立たない。役に立たないと云つて使はねば眼も見えなくなり、見えない眼はやがて失はれてしまふ。是れは進化論でも說く處なのですが、かうしたわけで海の底には、眼の見えない魚や、既にもう眼のない異形なのもあるのですが。こゝに甚だ面白い、そして美觀を呈する魚の種類があります。話して聞かする丈でも小兒達は何んなに珍らしがり喜ぶことでせう。それは、百尋以下の海底に棲む魚の中には、實に立派な發光器を有してゐる事であります。魚の脊中、或は頭部、腹部等に整列したイルミネーションのやうな輝き、それが魚の意識のまゝに必要の時は光を發するのです。

□偕老同穴

かう云ふ名の海老があります。是は日本の海相摸灘に限ぎつて捕れるので、たま〳〵とれると珍重がられます。何故ならば是は白珊瑚の寄生蟲と夫婦の海老とが共同生活をしてゐるのです。是れが相方の生活で一生涯なのですから實に面白いのです。そして其の白珊瑚の殼は非常に美しいものであります。かう云ふお話をし初めたら限もなくありますが、兎に角、我國の婦人方がも少し眼を展げて自然界を見られんことを希望します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人界開拓者の家庭訪問（七）

佐々木信綱氏と雪子夫人

▲竹柏會といへば歌を詠む程の方は御存じである。それは佐々木信綱先生が數百の教へ子をまどひとする歌園の稱である。先生は國學者の門に生れて、前髪立ちの頃から、父上に從つては諸國に旅をなされて自然に親しみ、自然を詩として、今日を語つてゐられたのであつた。我が文學界に顯著なる功蹟を賞せられて博士となられた。一方國學者である博士は、また幾多の子弟を教養せられて師父としての尊敬を一身に集めてゐられる。而も博士の門に到り教へを乞ふ者は上流家庭の令孃や令夫人が多いのを以ても有名である。其の門下には片山ひろ子女史を初めとして幾多の才媛を數へる事が出來る。

▲此意味に於て博士はたゞ國學者、文學者としてのみの博士でなく時代に伴つた温淑な婦人の指導者として尊敬せねばならない。更に言へば中流下流の婦人社界には種々な方法と便宜とを持つて開拓の道は展けつゝある今日、最も及び難く、望みかぬるのは上流婦人の一階級では無からうか――と潜越かもしれないが思ふ。そして愈々博士をして歌道、文學の先生として、尊敬し、愛慕して集まる處の幾多の婦人方に常によい刺戟と奮勵とを與へられてゐる博士をしてわが婦人界の開拓者としての尊敬と感謝を爲ずにはゐられない。

佐々木信綱博士と雪子夫人

▲夫人雪子様も亦閨秀歌人として夙に令名を斯界に馳せてをられる。一日記者は博士のお邸を訪れた。折柄御病氣の御主人に代つて雪子夫人は、ちま〳〵としたお姿を玄關先きまで立ち出られて、實に明瞭な語調での應對ぶりは素晴しいお手際で、こちらからのお尋ねの鋒先を輕く受け流しては、程よいお話としておしまひなさつた。お玄關には黒塗の長持があり、舊家を偲ばせるかのやうな年代のついた櫃などが置れてあつた。帽子かけに可愛らし女兒の帽子などが二ツ見えた。五人の令嬢と三令息を持つお母様の雪子夫人の御日常は、どんなにかお忙はしい事であらう。而も御邸内は森閑としてお晝近い時のやうにもなかつた。此日もし博士が御病氣でなかつたならば、親しくお目にかゝつてお話も伺へたことと、お玄關先に立ちつくした記者は殘念に思ひながらも、それでも雪子夫人の御風丰に接したことをせめてもの心遣りに、またの日をたのんで、おいとま申した。往來へ出ると邸續の西片町のとあるお家の、塀の内に朱色にうれた柿の實が美しく見えた。そして、眞黒な大烏が一羽止まつて記者をみおろしてゐた。（小枝）

噂

▲與謝野晶子女史は近く男兒を擧げられ、寸と名づけられたが生兒は廿四時間の後エレナといふ病氣で亡くなられました。女史歌ふて曰く『生みつるはこの白蠟の子なりしか、二日の後に指くみ思ふ』と。▲長井博士夫人が今から三十餘年前遙かに海を越えて獨逸から博士の許に嫁がれた折は、まだうら若い廿歳の年であられた。しかも馴れぬ臺所仕事にいそしまれ、竈の烟りに眼を遊らせながら、御飯を炊かれた事もあられたとか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東都にある蜂窩生活

文明式な簡易生活

＊

温い家庭から離れて居る人、冷たい下宿屋の生活にも入り兼ぬる獨身者が、切に希望するのは、平和と安泰である。何等の拘束も交渉も無い、自由な生活である。そこで煩雑な都會生活の新しい現象として生れ出でたのが蜂窩生活である。生活程度の高い人口の稠密した歐洲の大都市には、かうした生活が、夙に行はれて居ると聞く、日本には未だその生活は一般には行はれて居ない。併し只一つ東京で一番初めに開かれた、蜂窩は麹町三年町の佐藤別莊である。今では此處が唯一の簡易な共同生活所となつてゐる。秋空に蜻蛉の影うららかなひと日、私はその若い自由な生を樂む人々の住居を訪れた。葵橋を渡つて右へ少し許り入り込んだ右側に灰色に塗られた、三階の洋館建がそれである。ひつそりとした玄關は人氣が無いのかと怪しまれた。

＊＊

内部の構造や設備は悉皆普通の下宿屋とは違つてゐて、訪問者はずん／＼傘を持つたなり、めざす室へ昇上つて行く、玄關は夜中開放なので、下駄箱も嚴重な鍵制度である。階下の右にある木札で、此中の人々の在不在が示してある。左側には宛名の郵便物が、其人の名前の處へ刺されてある。掲示板には留守中の來訪者や電話の用件が記入されてあつたりする。これらの用事一切は、階下に住む監理人が親切にしてゐる。内部の様子はすべて和洋折衷式で、疊を敷いた日本間もあれば、敷物を敷き詰めた西洋間もある。三階を通じて十二の蜂窩のうち、一つは監理人が占めて居る。蜂窩の入口には、半間幅の木の戸が立つてゐる。戸には鮮かに住んでる人の名前が讀まれる。此戸は即ち一家の玄關であるから、中からと外からと鍵を卸す事が出來得るのである、入口の三疊に添つて、半間幅の廊下は草履を脱ぎ置く所、其半分は臺所になつてゐる。其他便所と洗面所とが、小ぢんまりと附いて居る三疊の次は六疊若しくは八疊で此二つの室には押入が附いてゐて、狹いながらも一つの家としての機關が備つてゐる。電氣、瓦斯、水道も居ながらに使用される、なほ寒中には瓦斯煖爐をさへ用意する事が出來るのである。夜はどんなに遲からうが、自分の腰の鍵さへ失はぬ以上、自由に出入が出來る。幾日旅行をして歸つて見ても、自分の部屋の中は、整然として出發の日の懐しみを止めて居る。

此處では子供のある人には、貸さぬ規定になつてゐる。折角孤獨な自由を尊ぶ者に、子供の騷しいのは迷惑であるといふ心から。夫婦者では目下坪内士行氏のみである。他に婦人が一人それは某女優である。あとは皆獨身の男子で、極めて平和な空氣が漂ふてゐる。獨身者は多く煩雜を厭ふて、食事は外へ行くか、或は料理を取り寄せる者が多い。併し自炊生活をする者にとつても何等の不便は感じない。朝はコツ／＼と扉を叩いて酒屋、肉屋、八百屋等あらゆる御用聞が廻つて來る。居ながらにして電話で物品をとりよせる事も簡易である。斯う數へ擧げて來れば、此生活程呑氣で心安

らけきものはない。只併し心して置かねばならないのは、火の用心である。外出した後で、火鉢の火が燃え出したり、或は漏電などいふ場合、火事が目前に見えて居ながら、鍵が無いために、窓を破壞して入る間にも火の手はなほも盛になつてしまふ。まして隣室が他の家である。蜂窩にとつて最も恐るべきものは火である。

＊＊

三疊と六疊の貸室料は十一圓三疊と八疊なれば十五圓位である。其中に電燈水道料は含まれて居るが、瓦斯料だけは別である。たつた二室で十五圓は高價な樣に思へる、山の手には門構への立派な家が無いとは限らぬ。けれども一家持つた時の町內の交際やら、無駄な雜費をかなり省く事が、出來るだらうと思ふ。夫婦住ひで、一切の家事を妻の手にゆだねる事が出來るならば、寧ろ經濟的であらうと思はれた。そして第一留守居の心配も無く、安心して外出の出來るだけでも獨り住む者には天來の福音である。『私共はかういふ所でもなければ、とても淋しくて居られません。營利的な下宿屋へはもう舞ひ戻る事は出來ません』此中に久しく住んでる一人の男はかう云つた。其室には、心地の好い碧空が仰ぎ得る、二つの洋風窓が附いてゐて、葵橋附近の高樓が一目の許に納められる。三階を辭して下ると、突きあたりに叩土で出來た氣持のよささうな風呂場がある。けれども二階の風呂場はどうも具合がよくないので、皆の需用には當てられない。只坪內夫人のみはこゝで入浴される。從て監理人の娘なども入るが、他の人達は皆外の風呂へ行くといふ事であつた。

＊＊

紐育などでは何千萬圓を投じた、宏大な蜂窩家が出來てゐて、かなり立派な一家族が住んで居るといふ。故郷を出でゝ、一人住む婦人達の爲めに、固い規約の上に、此樣な安泰な家が出來たならば、どんなに心強い事であらう、樂しみな事であらう、辭し去つた身は、空想に浸つて歩いて居た。

世界の事

ハーバート大學の名物

▲米國ハーバート大學の植物室には、世界に誇るに足る珍奇な玻璃製の植物標本があるさうです。これは千八百三十四年の同校出身チャールス、エリオット、ウエーヤ博士を記念して、其未亡人エリサベス、ウエーヤ、及び其の令嬢が寄附されたものであると申します。

▲初めウエーヤ夫人は獨逸に顯微鏡もて緻密に玻璃製の植物標本を作る人ありと聞いて、巨萬の資を投じて同國に其製作を依賴しました。斯界の名匠ブラスカー氏は苦心慘憺の結果作り上げた標本を箱詰として米國に送るや、痛ましくも途中粉碎されて終ひました。ブラスカー氏はかくと聞いて、再び勇を鼓し、其の身を米國を始め四方に馳せて、實物の花をアルコール漬や押し花として持ち歸らしめ、世界の名ある植物八百種を、實物大に花粉やこれを媒介する昆蟲迄も疎かにせず、前にも勝る美しきものを作り上げられました。而して破碎を恐れて石箱詰めとして送られたのがこれであると申します。

▲我が日本の百合の花等も、匂はん計りに作られてあるとの事です。漫遊客は此の室に入つて何れも自國の名花を思ひ掛けない地に見出して、喜び合ふと申します。ブラスカー氏は既に故人となられ、其息が後を繼いで、なほ玻璃製の標本を作つて居るとの事ですが、其の手腕は遠く先代に及ばぬと申しますから、ハーバート大學は再び得難き寶を持つたこと丶申さねばなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（二十四）

蒼天井の下で

無言の演劇

活動寫眞の種寫し

▲淋しい町並が濁つた水に添つて幾つも曲りくねつてゐる、枯れしぼんだ蓮池の、によつきり立つた棒の頭に、赤蜻蛉が安らけく、羽を八の字にして止つて居た、日暮里の蛬の靜けさ、左り手を見れば、碧空に高く廣々と白幕が脹いてゐる、久しぶりお天氣がいゝので、『今日はきつと撮影してるに違ひない』私はかう思ひながら、歩を其方へ向けた。

▲天然色活動寫眞株式會社の撮影場と云ふには、餘りに古びた汚い造作であつた。木戸をくぐつて細そい道を、事務所へと辿りつく。技師らしい人が、頻りにレンズをいぢつてゐた。向ふの家の中には、まだ假髮もつけない俳優達が、顔許り眞白くして立ち騷いでた。釘を打つ音、忽ち建具を運ぶ音が騷がしい。床に掛物やきれいな襖が並ぶ。立派なお花が美しく挿される、座敷が出來上つた、周りには近所の子供等が、物珍しげな瞳を見張つて、黑山を築き始める。机の上に線香がともされた、蠟燭が赤い焰を上げた時、袈裟御前がしづ〳〵と、其前へ端坐した。長い下げ髮と、お引きづりの衣裳、前へ蝶形に結んだ金絲入の帶は、しとやかな女性の形でありながら、男の太い地聲でものをいふのがおかしかつた。

▲鬘り色の足袋を穿いた男が臺詞を讀むと、袈裟は憂ひに沈んだ面もちして、遺書を認める技師は熱心にフヰルムを轉廻してる。半素袍に大髻、かひ〳〵しく大小をたばさんだ武士が、私の後に立つて居た。子供が腰の邊りにつき纒ふ度に、銹びた刀を拔いてはおどしてゐた。武士は袈裟に想ひをかくる遠藤盛任に扮したのは專屬俳優中の頭目澤村四郎五郎といふ人、『先達中山へ行つて外景の分は濟ませて來ました、寒い時分仙人にでも成つて巖の上へ立たされるなどは、ほんとにつらい職業です。併しかうして家の中でするのはらくです。これから思ふと新派はらくですね。外で寫すのも、まるで野遊にでも行つた樣な氣もちです』盛任は大髻の毛をぴよん〳〵ゆるがせながら、黑く光つた紅の唇から氣輕く色々な話をしてくれた。

▲『なにしろ餘り舞臺稽古といふものをしませんから、寫しちまつた後で、あゝでなかつた、かうでもなかつたと、自分ながら殘念に思ふ事許りです。あゝいふ具合にずん〳〵廻してしまはれるんですからね』と笑ひながら、刀の束の手を離し、フヰルムを廻轉する眞似をして、大形な模樣のある肩を搖ぶつて又笑つた。遠方で見ると立派な盛任殿も、かうして向ひ合つてると、目の縁のくまどりや、引き眉毛が、恐しい程氣味惡く、はつきり眺められる。友禪の布團の中に、無心に眠つた樣な袈裟御前と、刀を引さげて殺氣張つた盛任とが、忙しく廻轉する機械の中へ、刻一刻に映し込まれて行く、私は舞臺の上の盛任に、輕い會釋をして別れを告げた。（佳子）

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

地方生活を推奬す

中流智識階級の安住地

斬雲生

口地方に生活根據

地方生活といふ意は片田舍の事でなく、各地方の小都市生活を言ふのです。東京病に罹つた人間は失樂園の苦みです。少くとも十萬圓の資産がなくては東京生活は甚だ詰らないものになります。私は折り〳〵考へますが、地方生活は物質上凡ての點に於て幸福です。人間の生活は九分迄は物質に據るので、唯だ一分の精神上の幸福の爲めに多くの人は東京に腐れ縁を結んで、終生泥溝の中に踠いて居るのです。地方に生活の根據を置いて時々東京に出て見るといふことは一層東京を美化します。

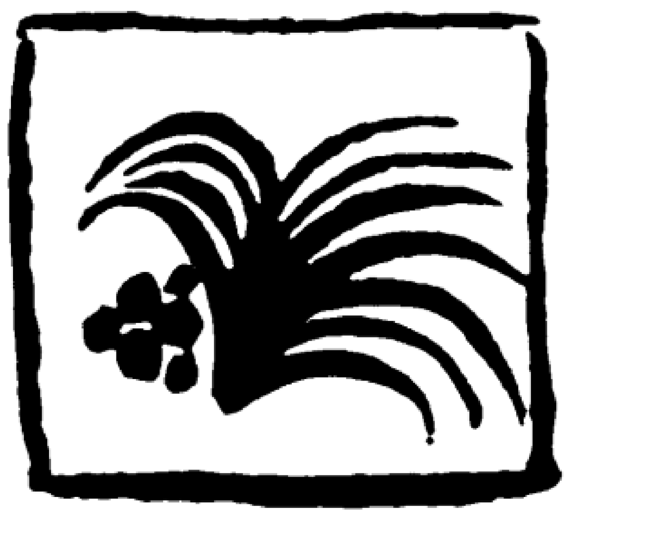
口東京は酒色の生活

東京育ちの人間は、東京位好い處はないと思ふて居るでせうが、地方に育つた人間は、十年も東京に住むと、せゝこましい都會生活に飽いて、天然の趣味を餘計に味ひ得る地方生活を好く樣になります。梯子酒を飲む事を唯一の道樂とする人間には、實際東京程樂みな處はないでせう。東京生活は、酒色の生活です。樣々な人間の顏を見る生活です。人爲の小細工は具備して居ます。併し天然の趣味は毛頭得られません。裏畑から野菜を取つて新鮮なのを食ふたり、樹からもぎたての果實を賞味したり、屋後の栗を拾つたり、或は山へ行つて茸を採つたりする樣な樂みは、都會では到底得られません。智辯人を凌ぎ、而して精力絶倫、斗酒を辭せず、何れかと言へば、霸氣滿々、動物味の勝つた人間にして、始めて都會生活の快味を十分に享樂する事が出來るのです。のんびりと自然の懷に抱かれて居やうといふ穩かな人間には、生地獄の樣な東京の生活は案外詰らないでせう。第一が窮屈で困るでせう。

口中流階級の緊要問題

中流智識階級の人に取つては、總じて言へば、東京生活は、他の上流下流以上に詰らないものです。座敷から便所を眺める樣な家に入つて、猫額の樣な狹い庭の中に草花を三四鉢並べた處は誠に氣の毒な慘めな生活です。心の富める者は庭の狹い事など苦勞にならぬといふかも知れぬが、之は多少負け惜みの反抗態度です。物不自由を少しも意としない程の達人は、六千萬人中にも二三人しかないでせう。上流者は金が有るから、山海の珍を我物にする事が出來るのです。從つて天下の粹を蒐めてある都會生活が、直ちに彼等のものです。下層社會になると、なりもふりもいらぬから、其の生活は甚だ氣樂なもので、都會に居つても案外生活の壓迫を感じません。地方に居る以上は餘計隣家の鰻を嗅ぐ機會が多く、彼等の單純な頭腦から言へば、嗅ぐ丈けでも、十分の魅力があるのです。今後とても其の收入が物價に伴ひ得ぬ生活難に惱まさるべき中流智識階級者が、東京病に罹らぬ間に、早く地方小都市に生活の根據を得る樣心掛ける事が、幸福な結果を來す事と思ひます。以上は社會的見地から言つた事です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



秋の皮膚病

食物から來る

女醫　松木勝子

□食物から來る蕁麻疹

秋は食物の關係上蕁麻疹が多いのです。即ち古い干魚を食べたとか鰹や鯖にあたつたとか云ふことです。然し是れも人によつて同じものを同時に食しても、障る人と障らぬ人とがありますが、もし是にかゝると、大人も小兒も隨分つらいものですから、その家庭療法をお話致しませう。

□下痢をかけること

原因が食物から來たと思つたならば、兎に角下劑をかけて毒素を去ることが第一です。それにはヒマシ油をお飲みになるのです。そして更に、サルチルサン、ナトリーユムかアスピリンを一服内用して置けば、萬々大丈夫であります。外用としては、つまり痒いのを凌ぐ爲に、五十プロ位のサルチルサンアルコールを塗布して、更に亞鉛化澱粉をふりかけて置けばよいのですが、それでも堪へられない痒さならば、硼酸水で冷掩法をするのです。この時の食事は熱がありますなら、消化のよいものを喰べるやうにしてゐる位の程度の手當でよろしいと思ひます。

□漆かぶれの時

漆屋の前を通つたゞけでも、漆かぶれになる方があります。其の時は別に内服藥の必要はありませんが、外用の手當は前述のやうな方法をお取りになればよろしうムいます。凡て皮膚病は掻きこはすといふことが大禁物でありますから、患者が子供であれば殊に痒みのとまる方法を取つてやるやうにせねばなりませぬ。別に惡質でもないものが、汚い手の爪で掻いたりした爲に、惡性なものに變質したり、二三日で治るものが幾日もかゝつたり、種々の惡い結果となります。殊に顏面は其の心持ちを持つて大切に保護しなければならないと思ひます。

□神佛の花立の水

是は問題のお話とは全く異つた事ではありますが、私は何かの機會に是非お話をしたいと思つてをりましたから――あの大抵のお家で、神棚や佛檀へお供へした花立の水を、食器を洗つたり食物を調理する臺所の流しへお捨てになるやうです。御老人でもおありになると、勿體ないと仰つしやつて、他の場所へお捨てさせになる所もありますがまづ〳〵そんなことは氣にせない方が多いのです。是は幾日も置いた水の爲に、埃や種々の不潔物が溜つてゐます。時には恐るべき黴菌さへゐるでせう。それを食物と最も關係の深い流し下へ捨てるのは、この上も無い危險でありますから、是れは必ず他の箇所へ捨てさせていたゞきたいのです。普通生花の水とても勿論左樣であります昔からの習慣には無意識の内にも理にかなつたことが多いとつく〳〵思ひあたりました。

新刊紹介

□新案料理法（海軍中佐若林欽氏著）

近年料理研究は旺んに行はれて居りますが、徒らに材料の贅澤を競ひ技巧の末に拘泥したり、もしくは外見體裁にのみ腐心して、其の眞髓たる火力と鹽加減とを説く者が乏しく、且つ科學的の知識に基いて、安價にして滋養分に富める食物に就て研究する者少きを憂へ、新らしき立場に起つて、研究した料理を蒐めたのがこの一書であります。眞に時勢の要求に資する處多かるべき料理の書物として、廣く家庭に推奬します。（定價金八十錢、麴町平河町五丁目洛陽堂發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雨續きの頃の 樂器の手入

凡て樂器は水を嫌ふ

口先づピアノから

此頃の様に永雨が續きますと、樂器類の音色に障りが來ます。先づ樂器の王様である、ピアノから御注意を申上げませう。凡て樂器類は濕氣を非常に嫌ひます。西洋人の中には、ピアノの置いてある室に、水一滴こぼしてあつても、眞赤になつて怒る人があるといふ程です。まして室の戸の開閉には氣をつけます。濕氣の來さうなときには、ピアノの下の戸を開けて、鹽化カルシウムをコップに半杯程入れて、其まゝ中へ入れておきます。カルシウムは濕氣を吸つて、水に成つてしまひます。そしたら又もとの様に、鹽化カルシウムを取り代へるのであります。カルシウムは、もよりの藥品店に賣つて居ります。室は相當に乾燥する必要がありますが、又無暗に加減もせずに、どん／＼火を燃くのも宜しくありません。

口其の他の絃の樂器

軍樂隊の樂器以外のものは、大抵膠を用ひてあります。濕氣を食ふと、膠の繼ぎ目に弛みが來ますために、音色が惡くなるのであります。殊に三味線の様な皮のものは、濕氣の影響がひどいのであります。お天氣の時はともかく、雨の續く日にこれらのものを、壁へ掛けておくのは、甚だ宜しく無いことです。ヴイオリンでもマンドリンでも氣をつけて壁から離して置かなければなりません。そして水氣のものを、なるべく其部屋へ入れない様にいたします。

（銀座十字屋にて）

植物ミルク

二十年間我が國の食物研究に心を潜められたる吉川巖翁の發明にかゝる植物ミルクは、豆麥其の他の穀類より主として蛋白質を採つた滋養飲料でありまして、其の分析は次のやうであります。

蛋白質	參六、六〇分
脂肪	壹六、六壹分
澱粉（其他無窒素有機物）	參參、貳〇分
纖維素	〇、五分
鑛物質（灰分）	壹壹、貳壹分

（内務省衛生試驗所分析表寫）

特効は胃腸諸疾患、肺病、脚氣神經衰弱、貧血によろしく、食餌として米に兼用すれば少量で滋養足り、來客の節は茶、珈琲、菓子に代用として用ひられるものであります。

六　回分　拾貳錢
貳拾壹回分　四拾錢
送料東京四錢地方八錢

婦人週報代理部で取次きます。

化粧問答

問　何時髮を洗ひましても臭氣があつて仕方がありませんが臭味のとれる洗方の御教示を（人形町　操）

答　何でお洗になるか知りませんが、完全な洗方をなされば決して臭味の殘る筈はございません。先づお湯を手の附けられる位の熱さに沸して置きまして、掌でクラブ洗粉をドロ／＼に溶き、生際から頭の地へかけて丁寧に幾度も擦り、それから段々毛先きの方へ洗つて行くので、其間に度々頭から掛湯をするのです、斯様にして毛を摘んで見てバサ／＼になりましたら、お湯の濁らぬまでゆすいで、その儘よく乾くまで結ばずに置きます。生乾の内に油をお塗けになると、[illegible]が腐敗してイヤな臭ひがいたしますから、スッカリ乾くまで油は塗けてはなりません。乾き切つた所で、髮の艶を出すクラブ香油の如き植物性の油をよく地に擦込んで置きますれば、毛髮の發育を補け且つ決して臭氣などは殘りません。

尚はお洗ひになる度數は冬ならば月に一度、夏ならば二三度位が丁度宜しうございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

保健に叶ふ

經濟な献立

滋養に富む味噌汁

秋穂益實

□一日の保健食量

人體を組織する營養分が日々體外に排出する成分中の、蛋白質の分量を示せば、中等生活者一人の量は廿五匁内外である。故にそれ丈の量は食物中より攝取補充しなければならぬ次第である。故に蛋白は一日の食量中白米(麥飯も同様)四合分の中より十五匁内外、又魚鳥肉六十匁中より同九匁を補ひ、其他生量野菜百廿匁中より同一匁を補ふとすれば、以上三種を合して廿五匁の蛋白量を得ることゝなる。因つて是が一食に於ける魚鳥獸肉中の含量蛋白質及び標準價格を示せば左の如くである。

□主要食物の蛋白質と價額

品目	員數	代金	蛋白質量
生魚肉	骨付廿五匁 正味十五匁餘	四銭	三匁
鳥肉	正味十五匁	九銭	二匁七分
牛肉	十五匁	六銭七厘五毛	二匁七分
玉子	(中玉二ツ廿六匁)	八銭	三匁
鹽鮭	十二匁	一銭八厘	三匁
鰹節	四匁	三銭	三匁
目指鰯	(四尾)十匁	一銭五厘	三匁
けずりするめ	四匁	一銭	三匁
油揚	(約十五匁一枚半)	三銭	三匁
豆腐	半丁分	一銭五厘	三匁
大豆	二勺五才(十匁)	七厘五毛	三匁
胡麻	三勺五才	一銭五厘	三匁
味噌	三十匁	一銭五厘	三匁

□味噌汁と蛋白質

故に是を配合すれば、即ち一日分の保健食量を得る事は容易である。但し毎朝左記位の味噌汁を用ふれば、蛋白質量は次にかゝげたる味噌汁の表に示した通りであるから、それ丈即ち二匁の蛋白量を得る他の食料品を減じて、猶立派に保健食量と云ひ得らるゝのである。宜しく、野菜魚と限らず、肉と言はず、其の時の相場の最も安價なるものを撰んで、調理すればよろしいのである。要するに蛋白の含量を知つて適當の献立をすればよろしいのである。

味噌汁(十人前)

品目	員數	代價	蛋白質量
味噌	百匁	四銭	十匁
煮干	十匁	一銭五厘	三匁
白胡麻	十五匁	二銭	七匁
葱	百匁	三銭	一匁五分
里芋	百匁	三銭	一匁五分
〆	二百廿五匁	〆十三銭五厘	廿三匁

(禁轉載)

ノートから

▲停車場に人を見送りに行き、コートを脱ぐべきか否かを迷ふ人があります。凡て、戸外での挨拶には、コートを脱がなくても差支へありませぬ。

▲殊にこれから寒さに向つて襟巻や手袋をして途中で人に遇ひますさ、急いで取る人がありますが、それでは却つて對手に氣の毒な思ひをさせる斗りでなく、襟巻、手袋などは着けた儘挨拶しても、決して無禮にはならぬのです。

問　お化粧した顔の白粉を急に落す時、石鹸などでは中々落ちませんが、何で落すのがよいでせうか。（青山　閑子）

答　甚麼厚化粧でも、一度油をお塗りになつてから、石鹸以上のクラブ洗粉でお洗ひになれば綺麗に落ちます。

問　良人は髭を剃りますと、いつも剃刀負けがして困りますが、適當な藥は御座いますまいか　（淺草　苗子）

答　髭剃の前後に御注意をなされば、決して剃刀に負けたり、顔が荒れたりする事はございません。先づ第一に蒸タオルで二三度髭を蒸し、柔げた後剃刀を使ひますので、かう致しますさスラ〳〵さ剃れて少しも痛みを感ずるやうな事はございません。剃上がりましたらクラブ洗粉で顔を洗ひ、クラブ美身クリームを剃つた後へ擦込むやうに塗り、濡タオルで軽く拭き取り、更にクラブタルカンをポツトで押へ加減に刷き付け、乾いたタオルで押へて置くのです。斯様になされば、剃刀で荒れた皮膚も落付いて、すべ〳〵さ氣持ちよくなり、決して剃刀に負けるやうな事はありません。

十三

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒 (廿一)

デビッドの助け(上)

琴子

デビッドが、「ジックとジル」の家で、夕ごはんによばれて、八時頃ハアレーの家へ歸つてきました。

中へは入らうとして、デビッドは思はず立どまりました。中には、ハアレーとハアレーのお神さんが、臺所のテーブルに向き合つて坐つて居ました。そして何か心配事があるのか、ハアレーは青い顏をして、下唇をかんでぢつと考へ込んで居ました。お神さんは泣いて居ると見えてハンケチを目にあてゝゐました。

お神さんが、慄へ聲で、

「お前さん、ジョンの處へ賴んで見たらどうです?」

と言ふとハアレーがこわい顏でにらんで、

「よしてくれ、己れは死でもジョンの世話にやならんよ。」

と言ふのが聞えました。

デビッドは只事ではないと思ひましたから、そーつと音のしないやうに、裏梯子から自分の部屋に登つて行き、ヴァイオリンを置いて又降りてきました。

丁度、小屋の入口に、ペレーが休んで居ましたから、

「どうしたの? 中ぢや何があつたんだい?」ときゝました。

ペレーは少し默つて居ましたが、其内に

「さうさなあ、どうせ知れる事だ、お前に話してもいゝだらう。旦那もお神さんも運が惡るいのさ。」

「どうして?」

「どうしてつてお前に言つたつて解らないさ、金の事だよ。しかも二千兩さ、いゝか、かう言ふ金が千も二千も入用なのさ。」

さう言ひながら銀貨を出して見せました。

「ぢや、あの星位ゐたく山?」

「さうだ、さうだ。家の旦那が人から一寸借りたのさ、そして此度の土曜日に返すつて約束なのさ。處が運が惡るいぢやないか、旦那の金を預けてある銀行がつぶれ、一文も取れなくなつたんだよ、氣の毒になあ、土曜日に拂ふ金がないぢやないか。」

「だつて向ふの人が待つてくれるよ。」

「そんなのんきな話かい、向ふぢや大よろこびさ、この家も屋敷も田地も皆貰つちやふのさ。」

「え? をぢさんやをばさんが住んで居るのに?」

「さうさ、そんな遠慮があるもんか。さうすりやこの家を空けてやるんだ。」

「そしてどこへ行くの?」

「そりや、解らん。己りや知らん。」

「だから泣いて居るんだね。」

「さうさ。」

「でも、どうかしてよくならないの。」

「そりや、金さへ土曜日までに出來ればいゝさ。」

「お金ならどんなお金でもいゝの?」

「何んでもいゝさ。」

「ぢや金のお金でも大丈夫?」

「大丈夫いゝとも、金でも銀でも札でもいゝんだ。だけんどお前なんかの手におへる事ぢやないよ、うつかり人に話すぢやないよ。」

デビッドは何を思つたのか、急に自分の部屋へとんで歸りました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

黄金の露

（下）

波留子

畠は依然として豊かに穀物はよく實つて居りました。けれども別に黄金の露らしいものも見當りませんでした。そちこちする内に太陽が小山の上からそろ〳〵とにぢり出る様に上つて、樂しさうな光線の矢を投げました

「うそつき婆様！お前はよくも〳〵私をだました、私はお前が云つた通りに寸分違へず働いた、約束の三年目も來て了つた、黄金の露は何處にある、嘘だ、嘘だ、お前の云つた事は皆な空虚なんだ」

若者は腹立たしさうに畠を見つめて我知らず聲高に罵つた。黄金の露はお前の目の前にあるではないか」

聲に驚かされて後ろを振かへると、曾て三年前に見た女乞食が相變らず柔和な微笑を湛へて畠の柵の處に立ずんで居るのでした。

「鳶色した頭を重さうに垂れて居る麥や枝の撓む程薄黄色い甘さうな實を澤山結んで居る林檎の木が、お前の目に入らないのか、彼處を御覧、よく肥えた牝牛が道添ひの牧場で悠々と草を食べて居る。私は曾てお前に秘密の鍵を與へて置いた。お前は其鍵を巧みに使用つて立派に寶の庫を開いた。三年前の事を覺えて居なさるか。茨や、雑草がはびこつて見る影もなく荒れはてた畠の所有主はお前ではなかつたか。もしもあのまゝだつたらお前様は今頃どうして了つて居やう。處が今日は、……お前が目の前に見る通りの豊かな誰が見ても羨しく思はずには居られない立派な地主さんにおなりではないか。私はお前が此幸福を一人占にしないで、お前の仲間や隣人に『黄金の露はどんな土地にも見つけられるものだと云ふ事を云ひきかせてやつて貰ひたいと思つて、態々此處迄出かけて來た。けれども太陽が出てから畠に急いで出るやうな人の上に、此幸福は決して宿らない。此事をよく云つて置かなくつてはならない。いくら廣大い豊沃な土地を有つて居るとしても成るが儘に任せて置いたら結局どうなるか。額に貴い勞動の汗を流す人で初めて黄金の露の天恵を受くる價値があるといふものである。そして怠慢者や、横着者は手もなく滅ぼされてどつかの果へ追やられるばつかり、――」

老婆は云ひ終ると、まだ消え残つて居た朝霧の中に姿を隠して了ひました。

此話をお讀みになつた少さいお嬢様方田舎にお住居なさる方でも町にお育ちなすつた方でも此お話の精神をようく呑込んで頂きたいものです。畠ばかりではありません。けれども貴女方も矢張ジャン、クロードの様に畠をもつて居らつしやるのではありませんか。即ち精神は畠と同様であります。勞働を欠いては、いつ迄も荒地に止まりませう。そして何等の善業も偉大なる功績も不精な精神からは決して生ずるものでありません。小供の中からよく此言葉の精神を記憶に止めて置かねばなりません。

よく耕やされた畠からよい穀物の収穫がおさめられるやうによく整へられた精神からよい行ひが生れます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

犬と彼等（十）

高田てい子

翌朝は思ひきつて、とみに荒療治を施した。氣狂のやうになつて啼いて厭がるのを無理に押へて、指の股をしらべてみた。その役目は伯父さんが引うけた。

たゞ啼かせるのを可哀そうと思つたばかりに、それまで捨てゝおいたおれいの姑息な愛はどんなにとみに不親切だつたらう。指のあひだには紫色にふくれあがつた牛蝨が肉ふかく喰ひこんでゐた。そしてそのまはりには、吸ひだされた血が黒く固つてゐた。

「ひどい奴だ」と伯父さんは大きい聲で牛蝨を憎くんだ。おれいは肌に泡だてながら毛拔でそれをとつた。

彼女は肌衣をもう一枚かさねたいほど寒氣がした。それでも原因がわかつたので、「ほんとによかつたこと」を何度でもくりかへして嬉しがつた。

その日に淸伍もかへつてきた。おれいは留守中の報告のなかで、とみの病氣を一ばんくはしく彼に語つた。彼は病院につれていつて、もつと安心のできるやうに、診てもらつたがいゝと、おれいにすゝめた。そして犬猫病院の所在をさぐつたりした。でもお晝には御飯を食べたので病院行きはやめた。晝すぎにはKちやんが心配顏して見舞にきた。洗濯ばあさんは煙草のやにを傷あとに塗つてくれた。前の日おれいから尋ねられた商人のひとりは、他できいてみたら多分牛蝨だらうといふことだつたと、わざ〳〵知らせにきた。ほうぼうからとみは慰問をうけた。ばあさんは、

「あなた・まだ小さうございますからお痛みが……」

と敬語までとみにつかつた。

六日目でとみは漸く跛がなほつた。それからは毎日一度、指の股を檢査してやつた。とみはそのあとしばらく座敷にもあがらないで柔しかつたから「あんまり座敷にあがる罰で、肢が痛んだのだととみは思つてるんじやないでせうか」と言つて、おれいは淸伍から大へん笑はれた。彼女は雜多な想像をとみに適てゝは、淸伍に笑はれたりいぢめられたりした。

夜になるととみの活躍は目ざましかつた。燈火をたよつて飛んでくる蟬を捕へるので、そして捕へたものはぼり〳〵と二口位に喰べてしまつた。十疋ぐらゐは雜作なくたべた。その野性味の强い嗜好について、それから食べられる蟬の生命についてまで彼等はちよい〳〵議論までした。

十六

晝間でも蟬に對しては敏感で敏捷であつた。樹の上の蟬をめがけてとみはよく樹に這ひあがらうとした。どんなに伸びても尺以上にはでないのに、その不可能事を容易にあきらめなかつたそういふ時のとみはおれいに一ばん面白かつた。それは彼女から見たとみの空想であつた。馬鹿げた、しかし怖しく偉大な。

ある日の夕方とみは淸伍のあとについて風呂屋までいつた。幾日かまへも風呂屋についてきたとき、彼は仕方ないので下駄をぬぐ土間に入れておいた。ところがいつの間にか洗場の彼の傍までもついてきて、彼を困らした。そして歸へり道では荷馬車を避ける拍子に、汚い溝に落ちた。馬車ひきが氣の毒がつてあげやうとしたら、怖がつて吠えたてた。かへつてから、何度も水を替へながら、二人がゝりで洗つてやつた。淸伍はその時で懲りてゐたから、今度は入口でしめ出した。それでも氣になる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ので、少しすぎてのぞいて見ると、とみはもうその時ゐなかつた。ひとりで歸つたのだらうと彼は安心してゐた。しかし彼が家にかへつても、とみはまだかへらなかつた。

　湯屋まではいくつも角のある道を四五丁行かねばならなかつた。不馴れなその道を小さいとみがひとりでかへれるはずはない。おれいは夕方の忙しい仕事を放つて探がしに出た。叮嚀に眼鏡までかけた。(彼女の近眼から起る錯覺はめづらしくなかつたから)

　道々彼女は子供や内儀さん小僧に茶色の小犬を尋ねた。しかし誰からも望みのある返事はきかれなかつた。道のあちこちに立ちどまつて彼女は幾度もとみを呼んだ。迷つてゐるとみを思ふのは病氣のとみよりもつと可哀そうであつた。

　湯屋のちかくでまた子供を負ぶつた内儀さんにたづねてゐると、「茶つぽい小犬ならこゝにをりますよ」と、向ふの門で少年の聲がした。おれいは心から禮をのべながら、その門をはいつた。玄關までの兩側がさま／＼な草花で埋まつてゐる。氣もちのいゝ家であつた。その庭隅に、小さくとみはうづくまつてゐた。美しい少年がその側にゐた。

　とみが彼女を認めたとき、とみは全く度を失くして、めぐつて、ころげて、飛んだ。どうしていゝのかわからないやうに。體のやり場がないやうに。

　かへる道でも少し走つては戾つてきて飛びついた。不安なものに出會ふと、問ねるやうに彼女をふりかへつてみた。「よし／＼」と彼女がいふのをきくとまた走りだした。そしてよつぽど怖いときは、彼女のそばにあわてゝ寄つてきた。

「どんなに自分を信じ、たよつてゐるのだらう。

　そして愛は、眞は、こんな小さい動物にさへ通ずる……」

　宗教的な情感が胸の奥を走つたとき、心弱い彼女はうす暗い道をあるきながら泣いた。

　それからまた日が經つた。

　暑い夏は冷明な秋にかはつたある晩また彼等は小犬の悲鳴をきいた。淸伍は外に出てしばらく立つてゐた。

「可哀そうだね」

と彼はしみ／＼言つて、

「とみはどうした」とおれいにきいた。

「もう寢ましたよ」

彼女は床板をあげてとみの頭をなでながら言つた。

「そうか、とみもあゝして啼いてゐたんだね」

淸伍ものぞきにきた。

「こうして飼つとくと可愛いゝもんだね」

彼はまたしみ／＼言つた。

「自分達が犬を愛するなんてどういふ攝理だらう」

「とみによつて自我が擴大された。」

　こういふ大げさな言葉を彼等は笑はないで話す日があつた。

雜司谷の家は靜かであつた。春は櫻に秋は蟲の音に、旅ながらの私にも限りない落ちつきさ慰籍さを持つことが出來た。それを私は思はぬことから去らればならぬことゝなつた。捨てゆく家をふりかへり見ながら今更のやうに愛惜の淚をさへ落すのであつた。

萩の花

立木鶴子

あはれわれ愛しく住みし丘の家を出でゝ行くかも萩の咲く頃

今はとて出でゝ來つゝも夕まぐれふりかへりみき萩咲ける庭

惜しみてはみかへりがちにと外に出でき咲たわみたる秋萩の花

住みすてゝいでゝもゆかばこの家にまたは見ざらむ秋萩の花

夕がほの花ほの見えて今はとて別れゆく家の夕べかなしも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□幼年學校へ行啓　兼ねての報道の如く　皇后陛下には十三日中央幼年學校へ行啓遊ばされ、御在學中の淳宮殿下の御學業を始め、在校生徒一同の授業等御覧あらせられました。

□北白川宮御渡臺　成久王殿下同妃房子内親王殿下には、御父宮故能久親王殿下御遺蹟を訪にせられ、猶同島の狀況御視察の爲十月十七日東京驛發御渡臺の途に着かせられました。御歸京は來月五日頃と承ります。

□各宮家の御救恤　各宮殿下に於かせられては、今回の暴風水害を御心痛あらせられて、東伏見宮邸に後藤内相をお召の上、金五千圓を賜はり、適宜に罹災民に分配すべしと仰せ出された由にムいます。

◉土國に革命起る　土耳其に革命起り、陸軍大臣エンヴエルバシヤ、總理大臣ターラート、大藏大臣ジエウエドの三名殺害せられ、土耳其皇帝は心臟破裂して死去し、人民と軍隊と共同動作を取り、軍隊中講和を要求しつゝありと、外國電報に傳へられました。

◉芬蘭の獨立及び共和　同國は國民集會に於て芬蘭の共和を宣言し、新元老院にては共和政治の形式を發表しました。

◉埃及の新王　フセイン、カミールパシヤ王崩御せし爲此の度王弟アーメドフエアド親王が位を繼がれました。

◉政府罷業者に讓步　露都來電によれば『露國政府は鐵道罷業者の要求を納れ、賃金增額を許可せり。此の爲に年額七億五千萬留の支出を要す。政府は又鐵道從業員に對して特別給與をなし、他の給與品分配以前に食料品を給すべし』とのことでありますが、是を以て如何に露政府が鐵道從業員の罷業に就て痛心してゐるかと思はれます。

◉遣米委員一行出發　遣米財政調査會委員長目賀田種太郎男一行は、十五日午前東京驛出發其の途に着かれました。

◉東北大學總長決定　東北帝國大學總長北條時敬氏の後任として、福原鐐次郎氏が任命せられました。

◉學士院長決定　去る十二日帝國學士院總會にて穗積陳重男が院長と決定せられた由です。而して同男の後任第一部長は多分井上哲次郎博士だらうとの噂でムいます。

◉岸博士と航空界　醫學博士たる同氏が今回多年從事してをられた刀圭界を去つて、飛行機製作と冶金の研究とにたづさはるとの事でございます。其第一着手として飛行學校及び飛行機製作所を起し、專ら斯界の爲の發展を計られるとの事でムいます。

◉師範學校長會議　全國師範學校長會議は、十日午前より東京女子師範學校にて開會『師範學校規程中改正を要する點なきか、若しありとせば其の事項如何』との問題につき討議及其の他數項の問題の研究をされ、午後には芳賀博士の講演がムいました。

◉上海へ治水の應援に　我外務省には上海の水害後の慘狀を傍觀するに忍びず治水工事の爲我が土木技師を出張せしむる事に決し、今回内務省と交涉の結果工學博士沖野忠雄同原田貞介兩氏、其の他九名の技手屬を同地へ派遣の事と治定されました。

◉來春の勅題　新年お歌會始めの勅題は「海邊松」と御治定發表せられました。因に出詠は十二月三十一日迄でムいます。

◉瀨戸軍樂長の退役　同樂長は卅五年間精意斯界の爲に盡瘁せられたりしが、來月四日帝劇に於て送別音樂會を催して、十五日愈々引退されるとのことでムいます。

◉英福丸擊沈せらる　大坂の福川氏所有汽船英福丸は佛國馬耳塞沖にて獨逸潜水艇の爲に擊沈されました。

◉文展開く　今回の文展は非常の嚴選で、日本畫總出品二千二百五十二點中僅かに百五十四點を、洋畫千三百八十七點中六十九點を、彫刻二百四點中五十點を入選せしめました。右の中婦人は洋畫部の有馬さとゑ女史（マンドリン）日本畫の栗原玉葉（身の幸、心の幸）島成園（唄なかば）の三女史と彫刻部に露國婦人エリサベット、チエレミツシノフ女史（猶裝の本野子）を見るのみで、極めて寂寥でありますす。チエレミツシノフ女史は、ロダン翁の門に在つて、學ばれたものであると申します。なほ十五六兩日は招待日で、十七日から一般觀覽者の入場が許るされました。

◉愛國婦人會の罹災地慰問　東京府知事夫人井上鼎子は、愛國婦人會東京支部を代表して、數名の婦人同作、連日暴風雨罹災地を巡視慰問せられつゝあります。

◉日本少年寮記念日　奥宮加壽子女史經營の日本少年寮十周年紀念は十四日小石川雜司ヶ谷町なる同寮内に催されました。五十名の現寮生を初め、舊寮生及び多數の來賓あり、式上奥宮女史の挨拶、成瀨仁藏、麻生正藏、高島平三郎氏等の祝辭があつて、極めて精神に滿ちた會合でありました。

◉産婆試驗　去る九日から十九日迄の間に行はれる東京府施行の產婆開業試驗、本年度の志願者は約千名ありました。内學術受驗者八百六十一名、實地二百卅八名で、是を三分にして受驗させるさうです。受驗者中には十五歲の少女が二名程あつて、最年長者の四十六歲の婦人との對照は人の注意を引きました。

◉婦人問題研究會　例會を廿七日麴町區八重洲町中央亭に開き早稻田大學教授中島半次郎氏の「戰爭に依る女子教育方針の變動」につき講演ある筈。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉京都の婦人博覽會　京都市教育會の主催にて今月十五日より、婦人博覽會が向ふ一ヶ月間の會期で開會いたされます。

◉菊花大會　東京市主催の菊花大會は過般の暴風水害の爲一時中止の噂がありましたが、再び開く事となり、會場は日比谷公園廣場で、十一月三日から開會いたすことゝなりました。

個人消息

▲廣岡淺子　七月以來御殿場及東京にありし同女史は、十五日夕歸坂せられました

▲九條充子　梟后宮の御令姪なる充子姫には、此の度侯爵池田禎政氏と婚約なり、來春華燭の典を擧げらるゝ由。

▲高濱眞砂子　俳人虛子の愛孃眞砂子は、與謝野寬氏夫妻の媒介にて、食料品店尾張屋の主人眞下喜太郎氏と婚約調ひ、十一月九日式をなさるさうです。

▲水野山東子　故水野幸吉氏長女山東子は盲腸炎で十一月十一日死去なされました。

編輯室より

▲暴風雨の後の快晴は通則のやうに思はれて居りますのに、いかにもよく降りますこと。罹災民の困難のほども思ひやられます。▲本紙は次號を以て二周年を終り來月初號は記念號として發行したいと思ひます。紙價暴騰の打擊にもひろまず無事に其の瀨を越された事は、只管讀者諸氏の御後援及御同情によることゝ今更に感謝いたされます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調查、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、三、四）金參拾圓
△壹等（白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

嘉税孝子女史著

價値ある生涯

定價五十錢　送料六錢

忠實、反省、高き心と低き手、豊なる生活、來る用は已に出來る用と知れ、油斷なく、等の諸篇に分ち子女が艱難多き現代に處すべき道を說く頗る親切を極む。

送料	定價	判	書名	著者
八錢	一圓二十錢	四六	折にふれ	新渡戸博士
八錢	一圓二十錢	四六	英詩評釋	櫻井鷗村
八錢	八十錢	四六	ユーモア十篇	マークトウエン原著 佐々木邦譯
六錢	五十錢	四六	聖パウロ	植村正久
八錢	八十五錢	四六	銀と藍	日向きむ子
六錢	七十錢	四六	英語の基礎	佐々木邦
六錢	五十錢	四六	使ふ人使はるゝ人	棟居喜九馬
二錢	二十錢	袖珍	安全第一	内田遞信次官
六錢	三十五錢	四六	貯金道話	森恒太郎
八錢	八十錢	四六	國民二十訓	大隈重信

ミルトン原著　菱沼平治先生譯

假面劇コウマス

定價七十錢　送料六錢

「コーウマス」は聖書の信仰を土臺としたもので妙齡な處女が恐るべき魔性の誘惑に罹り其貞操を完せんとしたる道德的戰鬪を脚色せるものである。

特典付　出版目錄　無代進呈

東京麹町三丁目
丁未出版社
振替東京七八四七
電話番町二八二〇

十九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町 六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
發賣元 甲斐産商店
東京市日本橋區通旅籠町
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門

大野醫院

院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
（入院隨時）
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生

東京至誠病院

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二三五七

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立

櫻井女塾

本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

家庭衞生講習會

一、目的 家庭に必要なる衞生及衞生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習科 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

産科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京 二二三一番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

齒科診察

府下千駄ケ谷町五百六十三番地

齒科醫學士　大久保透

シンガー裁縫院　生徒募集

●和洋服刺繍（東京有樂町一ノ五）
●ミシン專修　●毎月五日迄入學

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
（玉川電車道西郷邸前）

百足屋染物店
平田孫太郎

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣清新、四季緑草をもて覆れたる天與の牧場地伊豆の大島に産せる純良、風味卓逸、心地よき黄金色の最上バタを試みられよ

定價　半斤　金五十五錢　壹斤　金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

和洋裁縫講習録

共立女子職業學校教師
家政氏及大家博士
文部省檢定委員　執筆

卒業一ヶ年
月謝僅に卅五錢
三ヶ月一圓・一年三圓六十錢
（美本毎號百六十頁）

自宅獨習生徒募集

□□□□
和服裁縫科
小物及細工物科
洋服裁縫科
袋物科

■國民道徳　■教育學
■裁縫教授法　■洗濯色染
▲檢定試驗問題解　▲質疑應答等

■裁縫だつて學校で教へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業と同様の實力を充分に授く。
■小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初歩より高等裁縫迄教授す。
■完結の後は各科別に綴れば、それぞれ立派な大部な書物となり、常に机上にありて教導す。
■良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を頼りに勉強し、教科書無しに地理や歴史を習ふ様な不便がなくなる。

内容見本規則附郵券貳錢送れ

教育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路
日本裁縫教育會
電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA